

3.世帯の推移 ～増加する一般世帯と減少する1世帯当たりの人員

全国の一般世帯(社会福祉施設等に住む世帯を除いた世帯)数は5,184万世帯となり、調査開始以来、初めて5,000万世帯を超えました。大川市では、一般世帯数は、12,546世帯で、前回と比べると407世帯の増加となっています。

大川市の1世帯当たりの平均人員は2.92人で、福岡県全体では2.35人、福岡県内では大木町の3.16人が最も多く、前回の調査と比べると、すべての市町村で1世帯当たりの人員は減少しています。

大川市の1人世帯の数は2,688世帯で、一般世帯の21.4%が1人世帯です。福岡県全体で見るとその割合は35.0%となっています。

大川市と近隣市町の世帯の状況

	一般世帯数		1世帯当たり人員		1人世帯数(平成22年)	
	平成22年	平成17年	平成22年	平成17年	総数	割合(%)
大川市	12,546	12,139	2.92	3.17	2,688	21.4
久留米市	116,381	111,179	2.53	2.67	36,598	31.4
柳川市	23,289	23,037	2.99	3.16	4,680	20.1
八女市	22,261	22,284	3.00	3.19	4,362	19.6
筑後市	16,588	15,344	2.85	3.04	3,505	21.1
みやま市	13,045	13,074	3.04	3.24	2,237	17.1
大木町	4,463	4,185	3.16	3.36	709	15.9

4.高齢者世帯 ～大川市の65歳以上の一人暮らしの割合は15.9%

大川市の65歳以上の親族がいる一般世帯は、6,807世帯で、一般世帯に占める割合は54.3%です。うち高齢夫婦世帯が1,462世帯(21.5%)、高齢単身世帯が1,081世帯(15.9%)となっています。

福岡県全体では65歳以上の親族がいる世帯の割合は35.2%、高齢夫婦世帯の割合が27.0%、高齢単身世帯が28.4%となっていて、福岡県全体と比べると65歳以上の親族がいる割合は大川市が54.3%と高いですが、高齢単身世帯の割合は大川市は、約半分とかなり低くなっています。

注)○高齢夫婦世帯:夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦一組のみの世帯
○高齢単身世帯:65歳以上の一人ひとりのみの世帯

大川市と近隣市町の高齢者世帯の状況(平成22年)

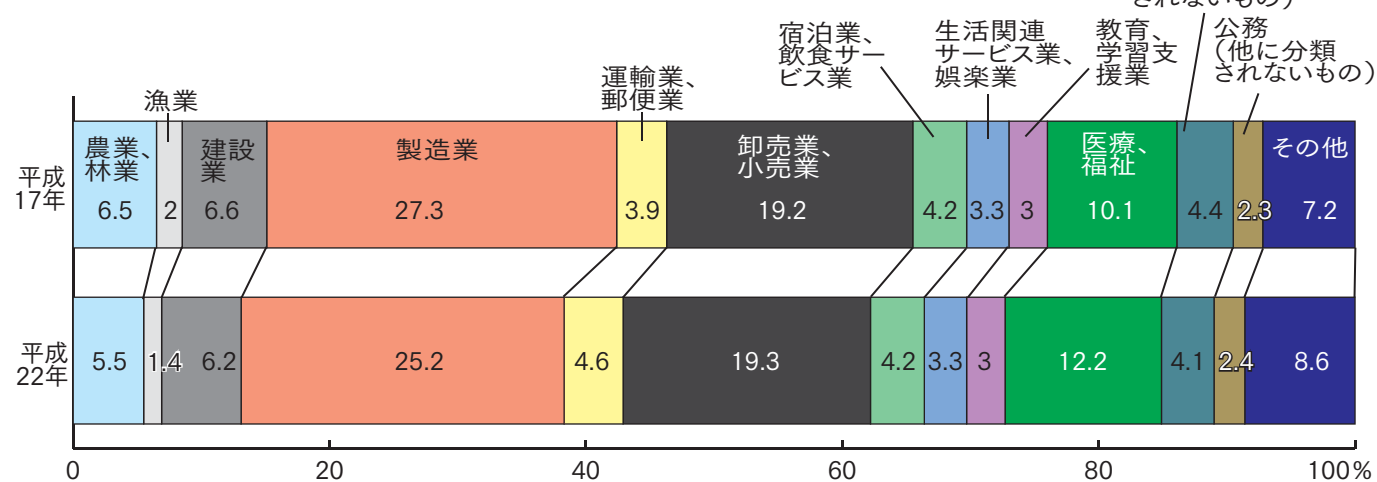
	65歳以上親族のいる世帯		高齢夫婦世帯		高齢単身世帯	
	総数	割合(a)(%)	総数	割合(b)(%)	総数	割合(b)(%)
大川市	6,807	54.3	1,462	21.5	1,081	15.9
久留米市	43,732	37.6	10,323	23.6	10,704	24.5
柳川市	12,365	53.1	2,556	20.7	2,020	16.3
八女市	13,054	58.6	2,849	21.8	2,356	18.0
筑後市	7,046	42.5	1,627	23.1	1,324	18.8
みやま市	7,874	60.4	1,701	21.6	1,316	16.7
大木町	2,077	46.5	371	17.9	297	14.3

(a:割合一般世帯数=100、b:65歳以上親族のいる世帯数=100)

5.産業別15歳以上の就業者の割合

大川市の産業大分類別の15歳以上就業者の割合をみると、「製造業」が25.2%と最も高く、次いで「卸売業・小売業」の19.3%となっています。

大川市の産業大分類別15歳以上就業者の割合の推移



平成17年と比較すると、「製造業」が2.1ポイント、「農業、林業」が1ポイント減少し、「医療・福祉」の就業者が2.1ポイントと増えています。



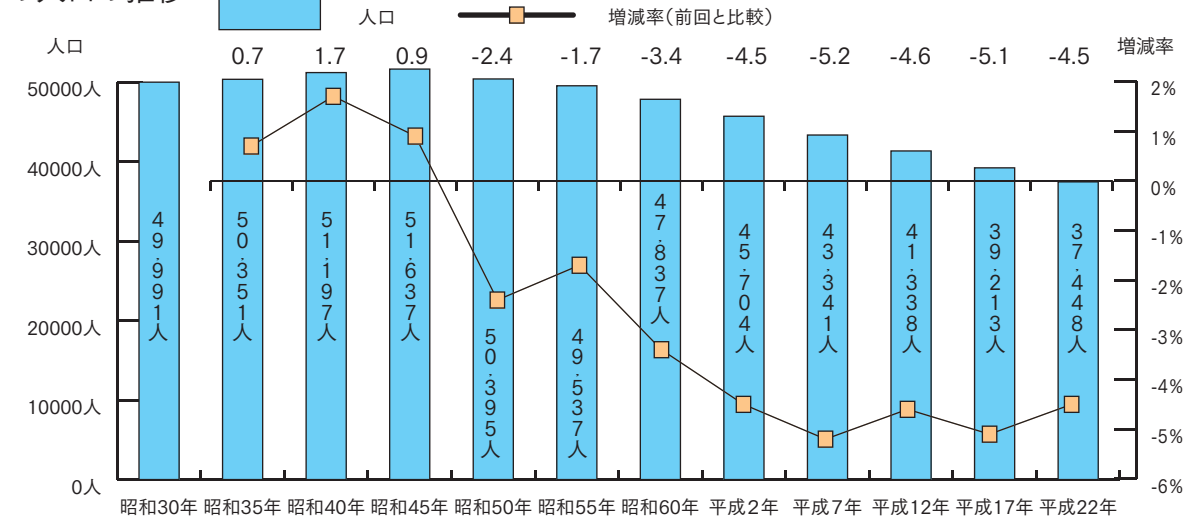
平成22年国勢調査人口等基本調査集計結果(確定値)

平成22年10月1日に実施された平成22年国勢調査の結果が総務省統計局より公表されましたのでお知らせします。国勢調査へのご協力ありがとうございました。

1.総人口 ～日本の人口は1億2,806万人 全国1,728市町村のうち、4分の3で人口が減少 大川市の総人口は37,448人

平成22年国勢調査による10月1日現在の大川市の総人口は37,448人で、これを前回(平成17年)と比較すると1,765人、4.5%の減少となっています。

大川市の人口の推移



2.年齢別人口 ～進行する少子高齢化

大川市の人口を年齢別(3区分)にみると、総人口の37,448人に対して、65歳以上の老年人口が10,698人(29%)と大きな割合を占める一方で、14歳以下の年少人口が4,488人(12%)とその割合が小さくなっています。

前回の調査(平成17年)と比べると、年少人口・生産年齢人口の割合が低下し、老年人口の割合が高くなっています。平成7年に老年人口の割合が年少人口の割合を上回り、その傾向は続いていて、少子高齢化が進行している状況です。

大川市の年齢(3区分)別人口の推移

